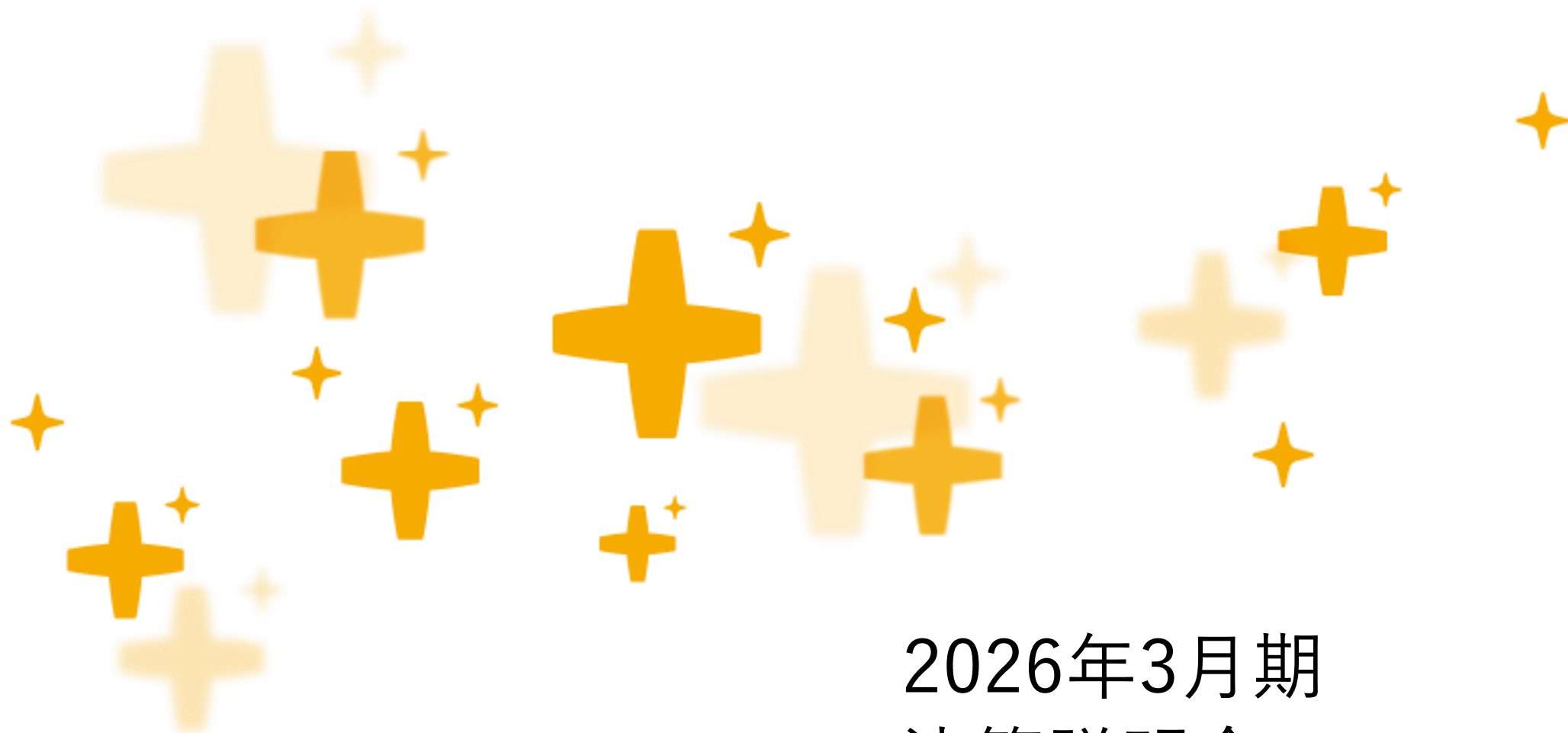


新たな可能性をプラスし、輝く未来へ。




2026年3月期 決算説明会 (2026年5月20日)

代表取締役 社長執行役員 小林 和也

本日の内容

1. 2026年3月期 連結決算の概要
2. 2027年3月期 連結業績予想
3. 新中期経営計画「TOCALO2030」について

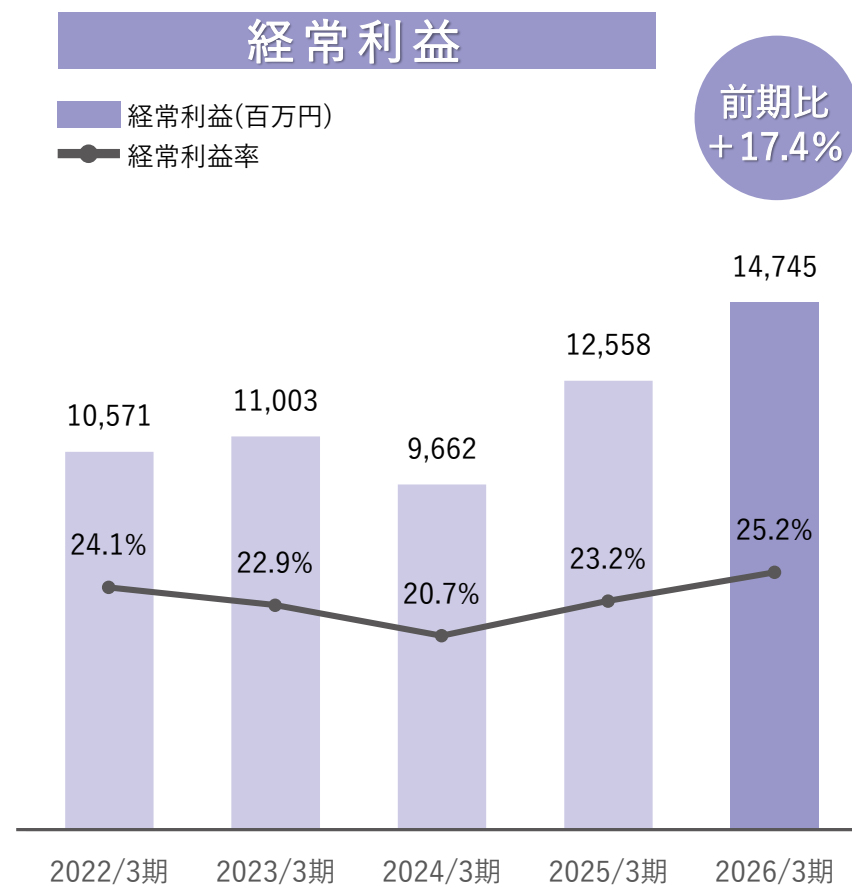
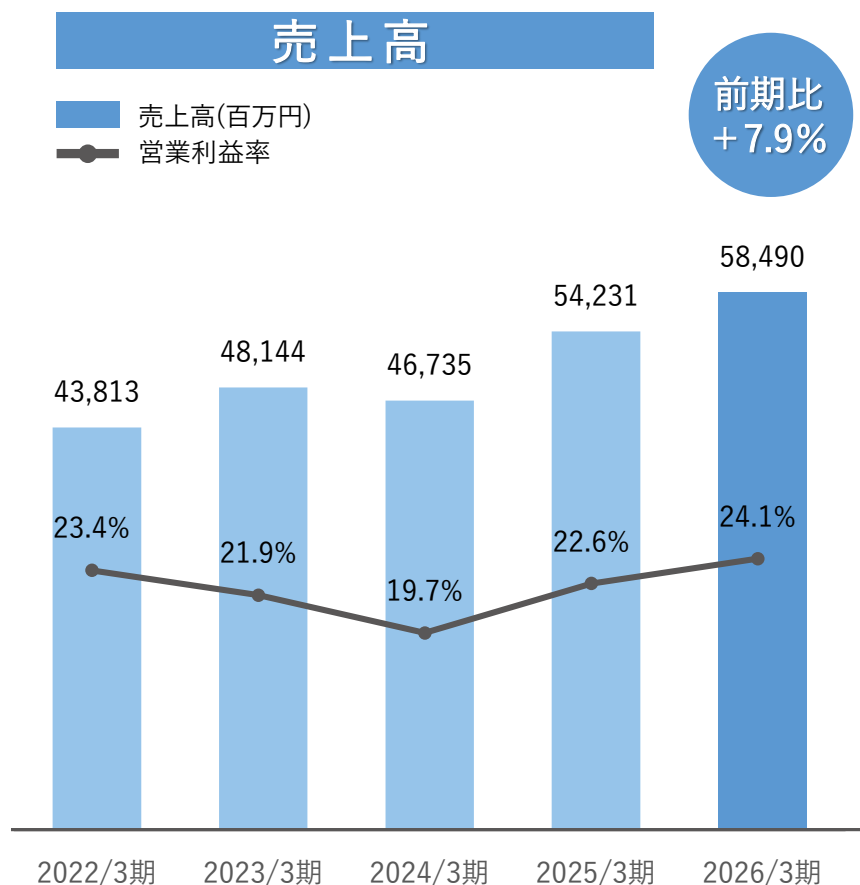


1. 2026年3月期 連結決算の概要

2026年3月期連結決算 ハイライト

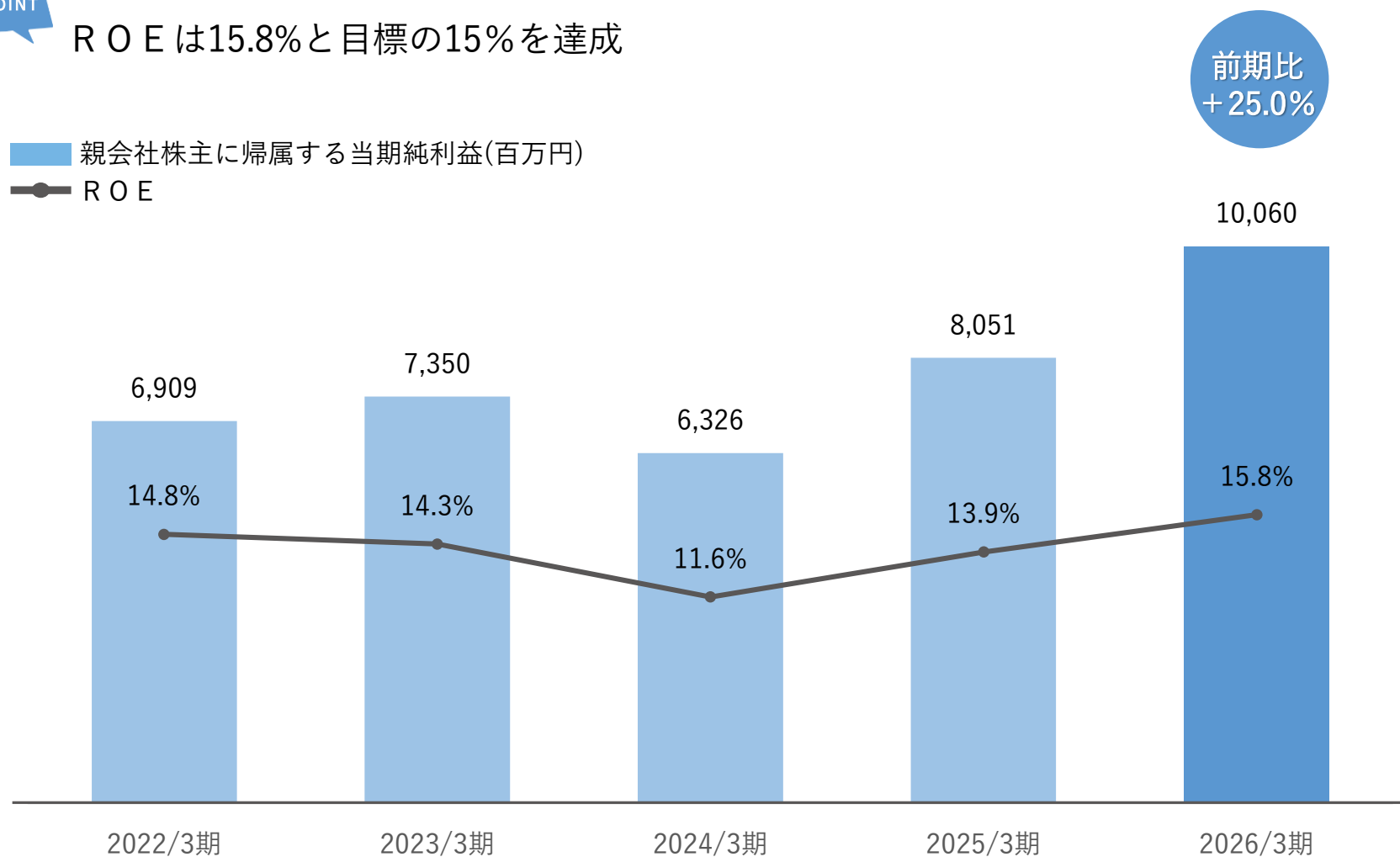
POINT 売上高は期初計画を上回り、過去最高を更新

POINT 経常利益も好調を維持し、過去最高益を達成



2026年3月期連結決算 親会社株主に帰属する当期純利益とR O E

POINT 親会社株主に帰属する当期純利益は前期比25.0%増
R O E は15.8%と目標の15%を達成



2026年3月期 連結決算(P/L)の概要

- 売上高は好調に推移し、前年比7.9%増
- 経常利益も、期初計画を上回って好調に推移し、前年比17.4%増

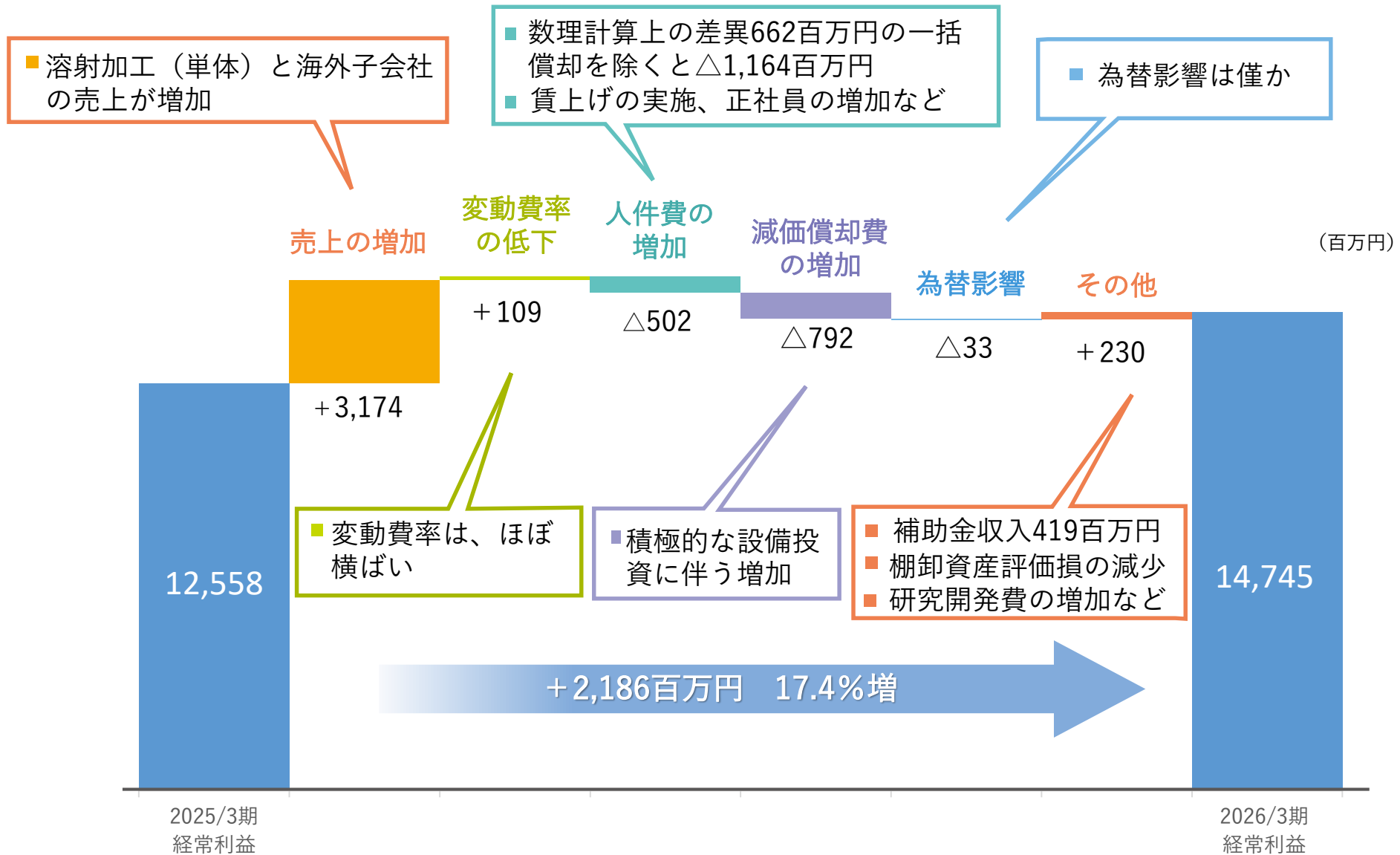
(百万円)	2025/3期		2026/3期		前年同期比増減	
	実績	構成比	実績	構成比	金額	率
売上高	54,231	100.0%	58,490	100.0%	4,259	7.9%
営業利益	12,268	22.6%	14,102	24.1%	1,834	15.0%
経常利益	12,558	23.2%	14,745	25.2%	2,186	17.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	8,051	14.8%	10,060	17.2%	2,009	25.0%
1株当たり当期純利益 (EPS)	135.44円	—	169.19円	—	33.75円	—

2026年3月期 売上高 (分野別)

- 最大セグメントの溶射加工（単体）は、産業機械分野は好調に推移したものの、主力である半導体・FPD分野が踊り場となり、前年同期比3.8%増
- その他表面処理加工は農業機械部品向けの在庫調整が継続した影響により、前年同期比14.3%減
- 海外子会社は半導体および鉄鋼関連を中心に好調に推移し、前年同期比31.7%増

(百万円)	2025/3期		2026/3期		前年同期比増減	
	実績	構成比	実績	構成比	金額	率
売上高	54,231	100.0%	58,490	100.0%	4,259	7.9%
■ 溶射加工(単体)	39,213	72.3%	40,709	69.6%	1,496	3.8%
半導体・FPD	24,114	44.5%	24,813	42.4%	698	2.9%
産業機械	4,872	9.0%	5,652	9.7%	779	16.0%
鉄鋼	3,927	7.2%	3,963	6.8%	35	0.9%
その他	6,298	11.6%	6,280	10.7%	△17	-0.3%
■ その他表面処理加工	2,880	5.3%	2,467	4.2%	△413	-14.3%
■ 国内子会社	2,656	4.9%	2,883	4.9%	227	8.6%
■ 海外子会社	9,319	17.2%	12,269	21.0%	2,949	31.7%
受取ロイヤリティー等	161	0.3%	160	0.3%	0	-0.4%

経常利益 増減要因分析



(参考) 実力ベースの経常利益



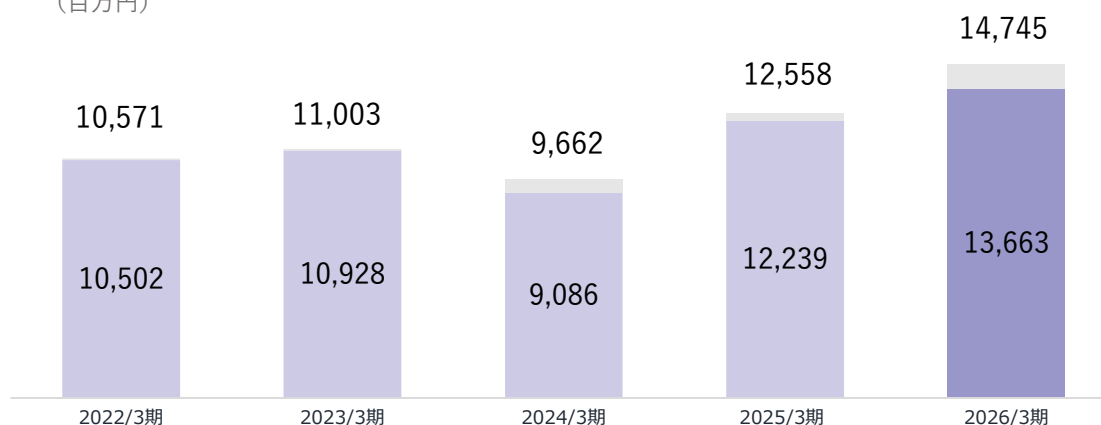
数値計算上の差異、補助金収入を除いた実力ベースの収益力

(百万円)

	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期
経常利益	10,571	11,003	9,662	12,558	14,745
数値計算上の差異	35	64	556	301	662
補助金収入	33	10	19	17	419
実力ベースの経常利益 (数値計算上の差異・補助金収入を除く)	10,502	10,928	9,086	12,239	13,663

実力ベースの経常利益 (数値計算上の差異・補助金収入を除く)

(百万円)



数値計算上の差異、補助金収入について

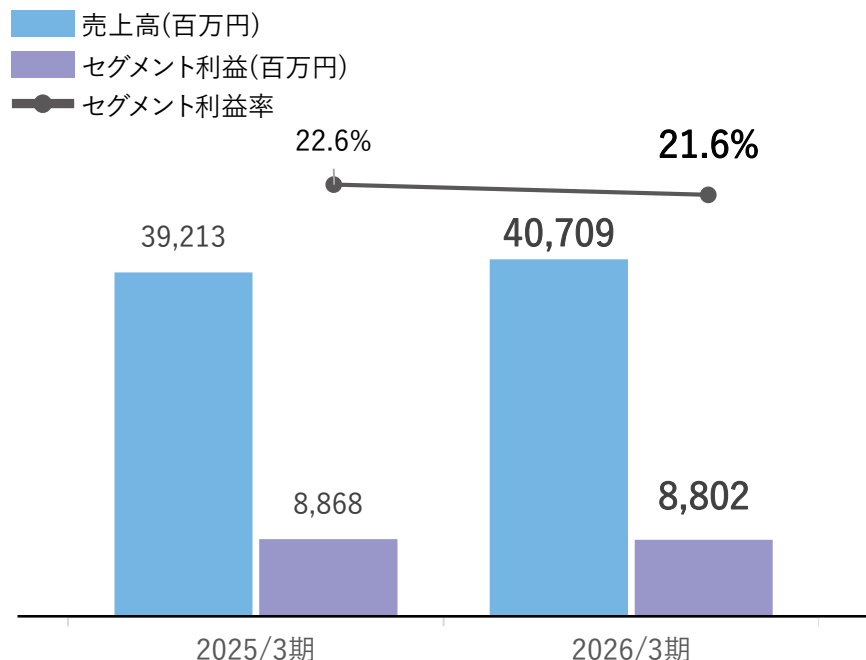
- 退職給付会計による数値計算上の差異**
 2026年3月期は、金利や株価の上昇等により、退職給付債務および年金資産の両方でプラスの差異が発生し利益を押し上げた
 当社では、発生した差異を毎期末に一括償却している
- 補助金収入**
 経済産業省の「中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金」など

2026年3月期連結決算 セグメント別

溶射加工(単体)

半導体・FPDは踊り場となるも、産業機械の好調により増収。一方、人件費、減価償却費など固定費増により減益

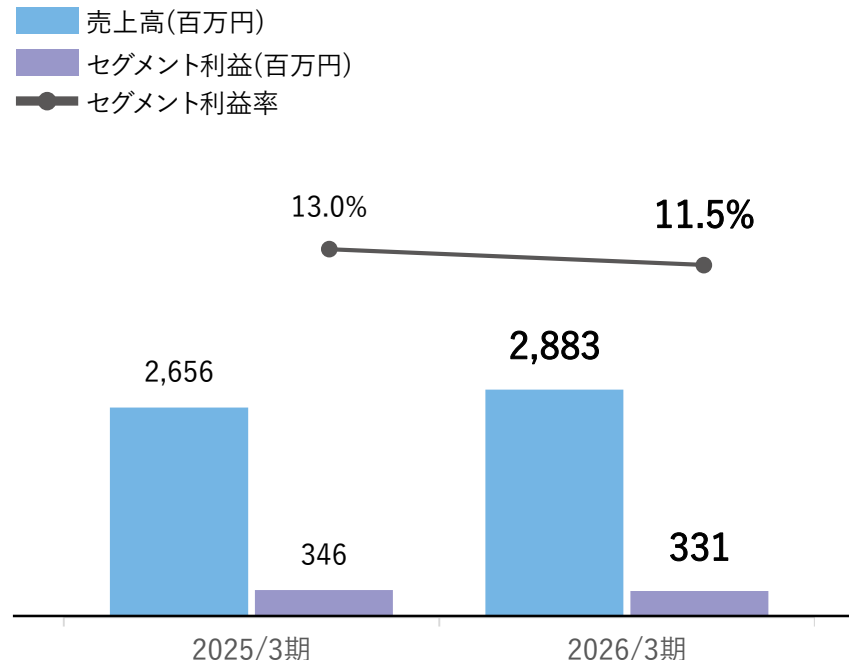
前年同期比増減率	売上高	+3.8%
	セグメント利益	-0.7%



国内子会社

日本コーティングセンターの切削工具は回復基調にあるが、寺田工作所の機械加工の受注が低迷

前年同期比増減率	売上高	+8.6%
	セグメント利益	-4.2%

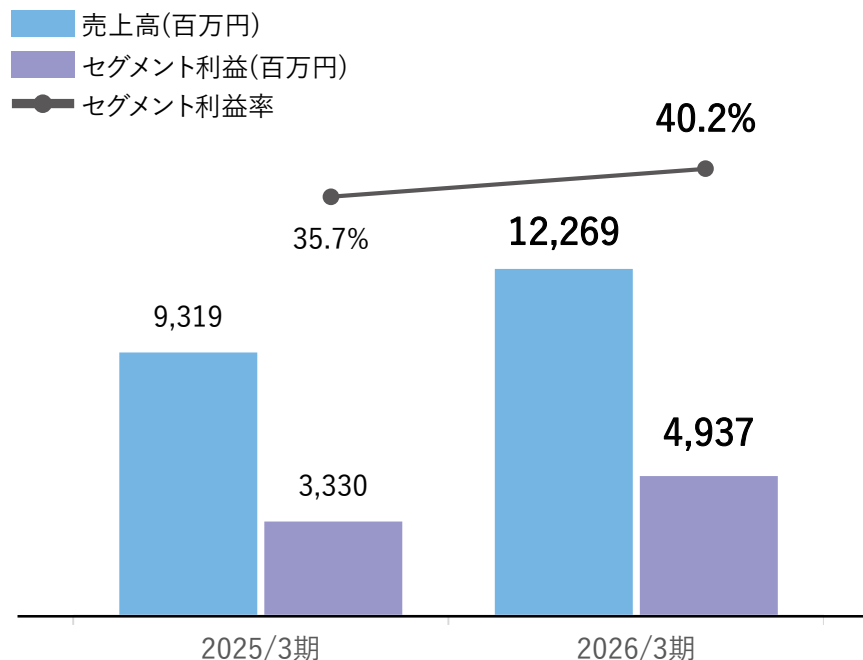


2026年3月期連結決算 セグメント別

海外子会社

半導体関連、鉄鋼関連が引き続き好調に推移し、増収増益

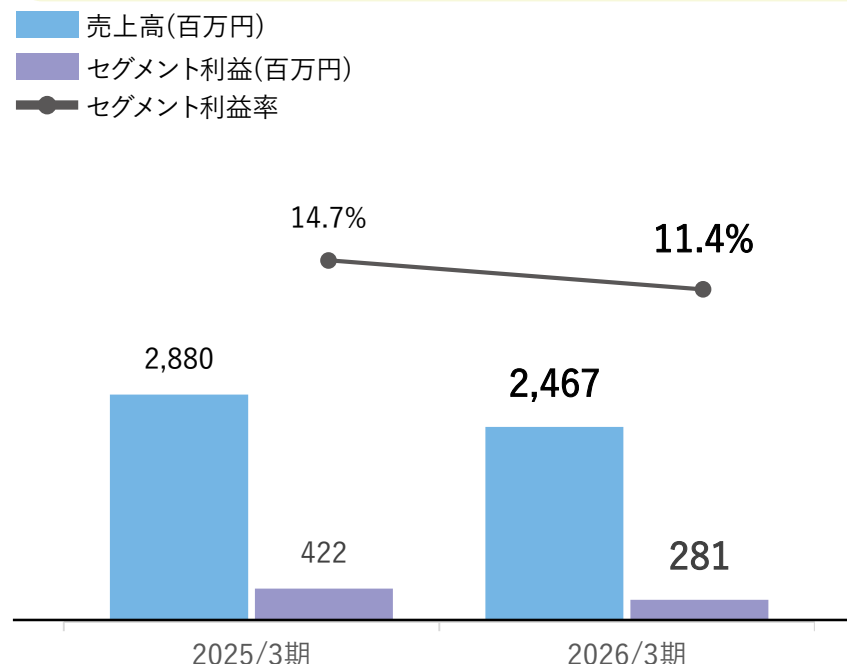
前年同期比増減率 売上高 …… +31.7%
セグメント利益 … +48.2%



その他表面処理加工

農業機械部品向けの在庫調整が継続した影響により、減収減益

前年同期比増減率 売上高 …… -14.3%
セグメント利益 … -33.4%



セグメント情報

(百万円)	2025/3期		2026/3期		前年同期比増減			
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高		セグメント利益	
					金額	率	金額	率
■ 溶射加工(単体)	39,213	8,868	40,709	8,802	1,496	3.8%	-65	-0.7%
■ 国内子会社	2,656	346	2,883	331	227	8.6%	-14	-4.2%
■ 海外子会社	9,319	3,330	12,269	4,937	2,949	31.7%	1,606	48.2%
■ その他表面処理加工	2,880	422	2,467	281	-413	-14.3%	-141	-33.4%
合 計	54,069	12,967	58,329	14,353	4,259	7.9%	1,385	10.7%

(注) 売上高のうち「受取ロイヤリティー等」は含まれておりません。

財政状態


- 総資産は、前期末比76億円の増加（有形固定資産の増加62億円）
- 自己資本比率は、前期末比0.6ポイント上昇の74.8%
- 有利子負債は、前期末比35億円の増加

(百万円)	2025/3期	2026/3期
	4Q末	4Q末
総資産	81,683	89,291
自己資本	60,645	66,758
自己資本比率	74.2%	74.8%
有利子負債残高	3,796	7,359

キャッシュ・フローの状況

- 当期のフリーキャッシュ・フロー（営業CF + 投資CF）は△22億円
- 投資CF / 有形固定資産の取得 前期：△55億円 当期：△97億円
- 財務CF / 配当金の支払額 前期：△34億円 当期：△44億円

(百万円)	2025/3期 通期	2026/3期 通期
営業キャッシュ・フロー	9,077	7,749
投資キャッシュ・フロー	△ 6,194	△ 9,963
財務キャッシュ・フロー	△ 5,124	△ 1,155
現金及び現金同等物の期末残高	17,591	14,461



2. 2027年3月期 連結業績予想

売上高と経常利益の見通し



半導体・FPD分野が売上を牽引し、過去最高の売上高となる見通し

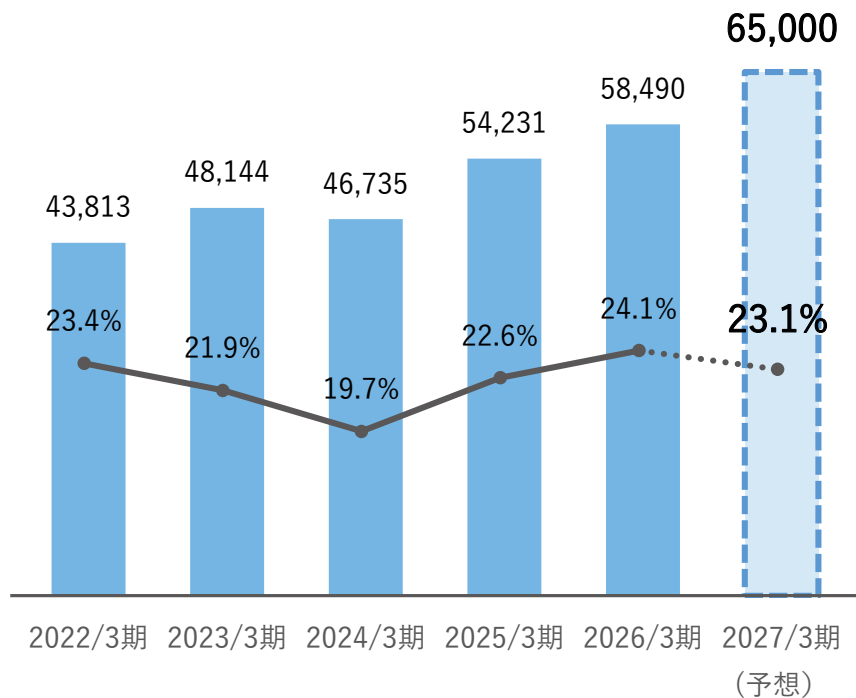


増収に伴い、経常利益も過去最高益を更新する見込み

売上高

前期比
+11.1%

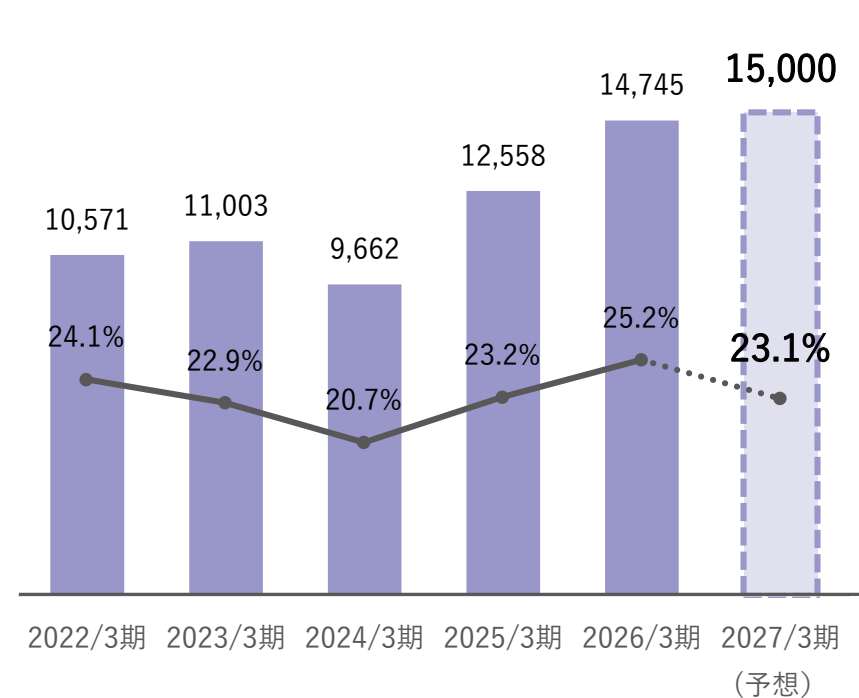
■ 売上高(百万円)
● 営業利益率



経常利益

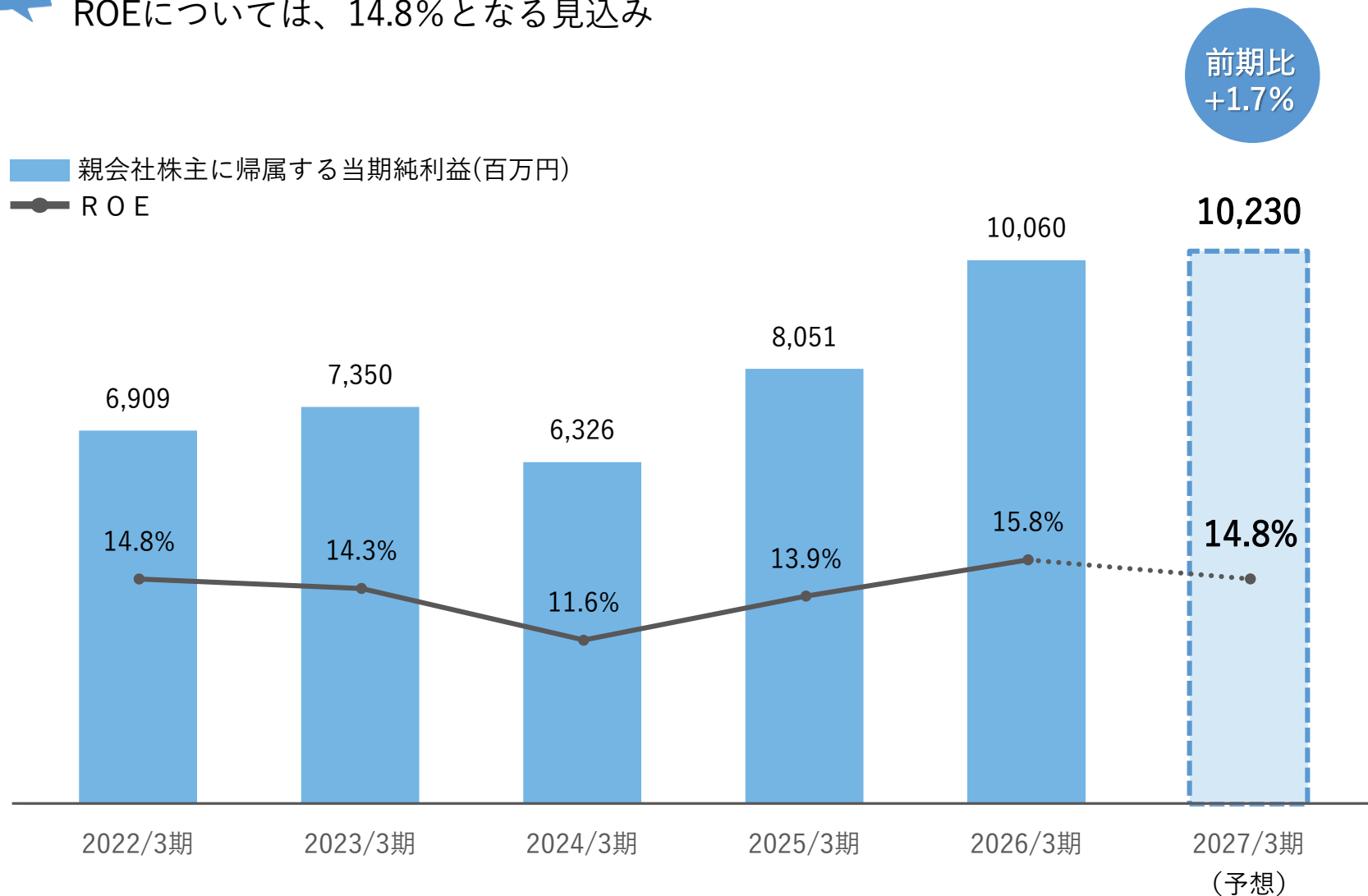
前期比
+1.7%

■ 経常利益(百万円)
● 経常利益率



親会社株主に帰属する当期純利益と R O E の見通し

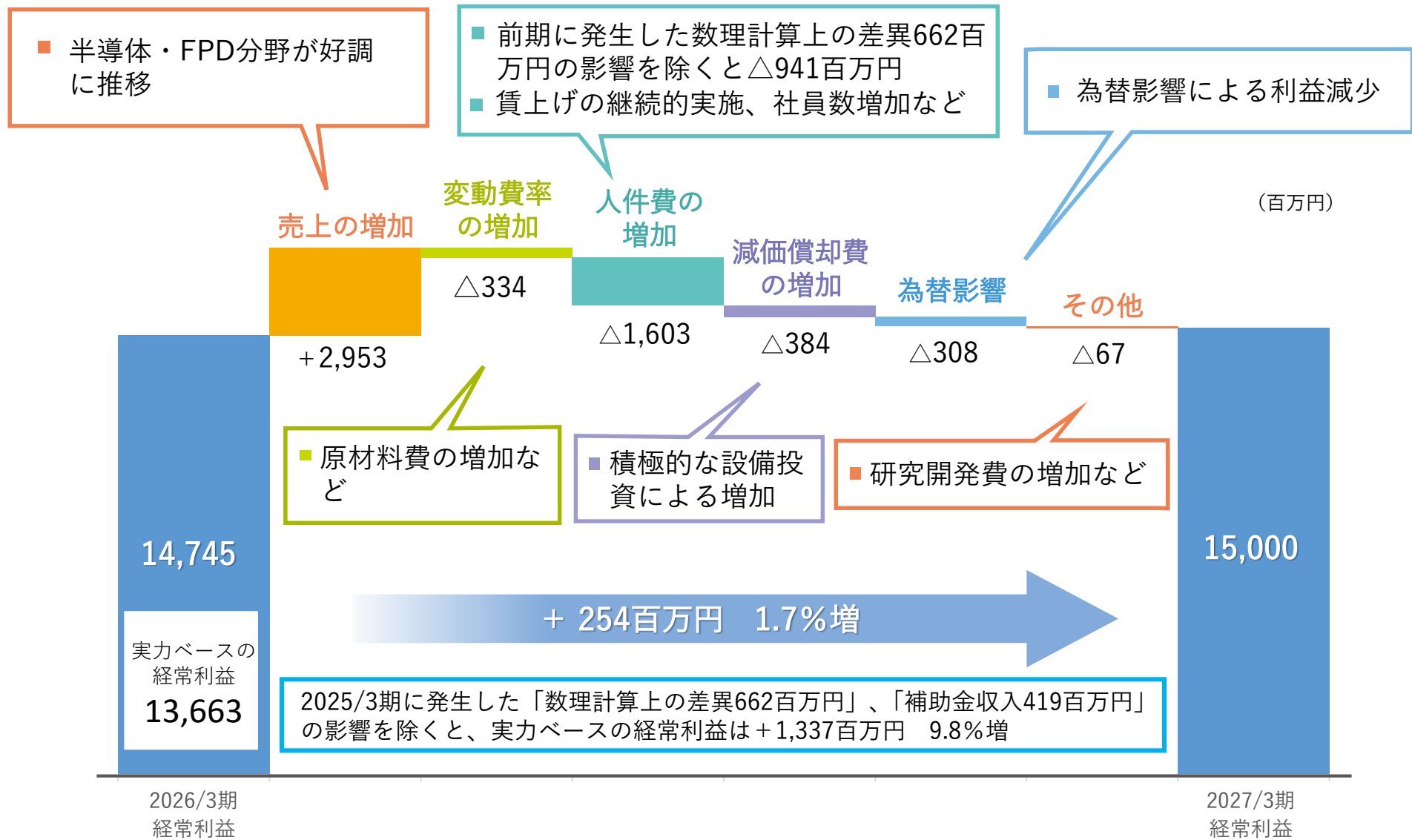
POINT 親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比1.7%増と増益となる見通し
ROEについては、14.8%となる見込み



2027年3月期 連結業績予想

(百万円)	2026/3期 通期		2027/3期 通期		前期実績比増減	
	実績	構成比	予想	構成比	金額	率
売上高	58,490	100.0%	65,000	100.0%	6,509	11.1%
■ 溶射加工(単体)	40,709	69.6%	46,291	71.2%	5,581	13.7%
半導体・F P D	24,813	42.4%	31,000	47.7%	6,186	24.9%
産業機械	5,652	9.7%	5,655	8.7%	2	0.0%
鉄鋼	3,963	6.8%	3,964	6.1%	0	0.0%
その他	6,280	10.7%	5,671	8.7%	△608	-9.7%
■ その他表面処理加工	2,467	4.2%	2,815	4.4%	347	14.1%
■ 国内子会社	2,883	4.9%	3,073	4.7%	189	6.6%
■ 海外子会社	12,269	21.0%	12,637	19.4%	367	3.0%
受取ロイヤリティー等	160	0.3%	184	0.3%	23	14.5%
営業利益	14,102	24.1%	15,000	23.1%	897	6.4%
経常利益	14,745	25.2%	15,000	23.1%	254	1.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	10,060	17.2%	10,230	15.7%	169	1.7%
1株当たり当期純利益 (EPS)	169.19円	—	172.02円	—	2.83円	—
自己資本利益率 (ROE)	15.8%	—	14.8%	—	-1.0pt	—

連結業績予想 経常利益 増減要因分析



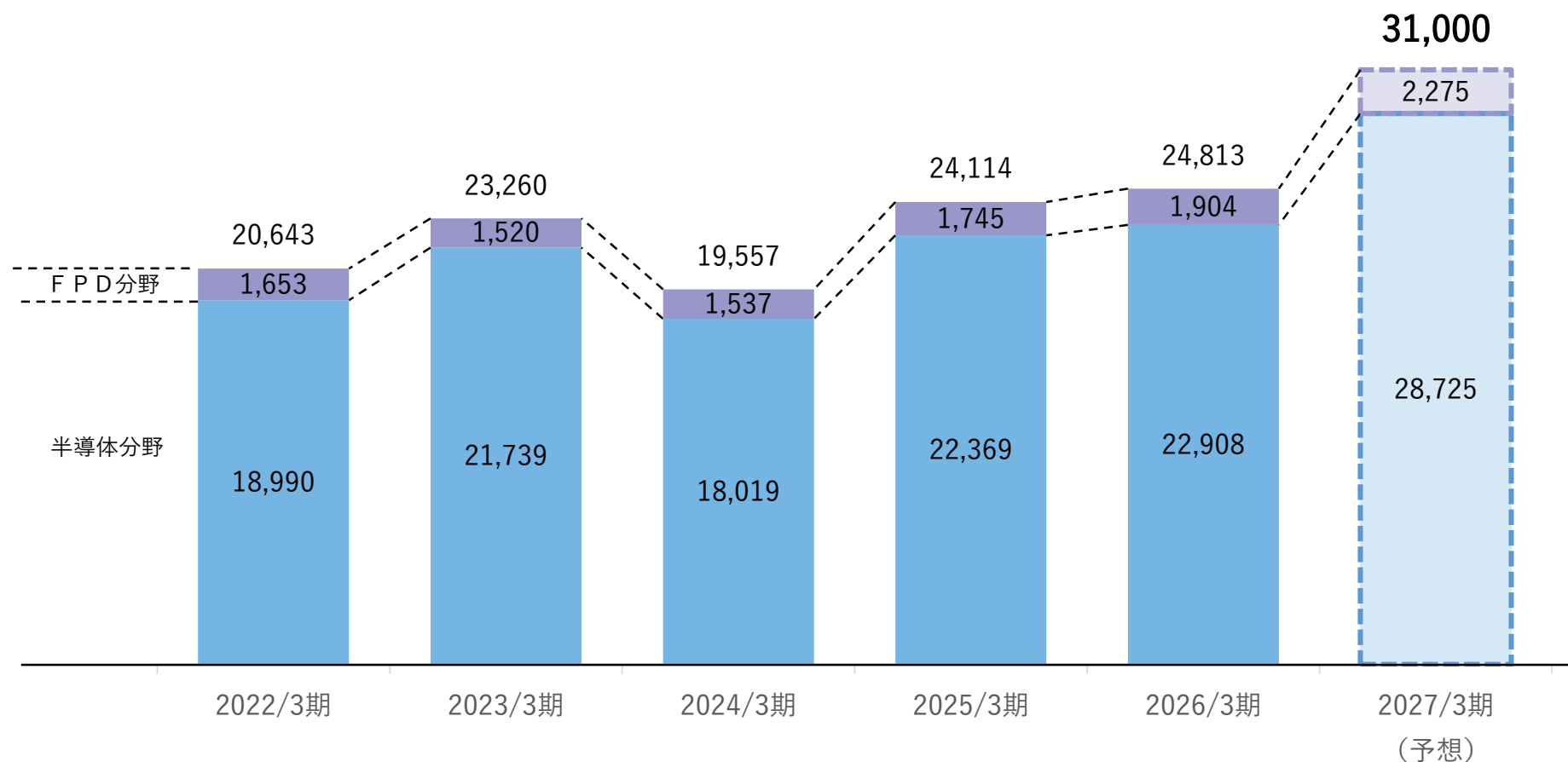
半導体・FPD分野の売上推移



半導体分野は前年同期比24.9%増と、今期も高水準の需要が継続し、好調に推移する見通し

前期比
+24.9%

(百万円)



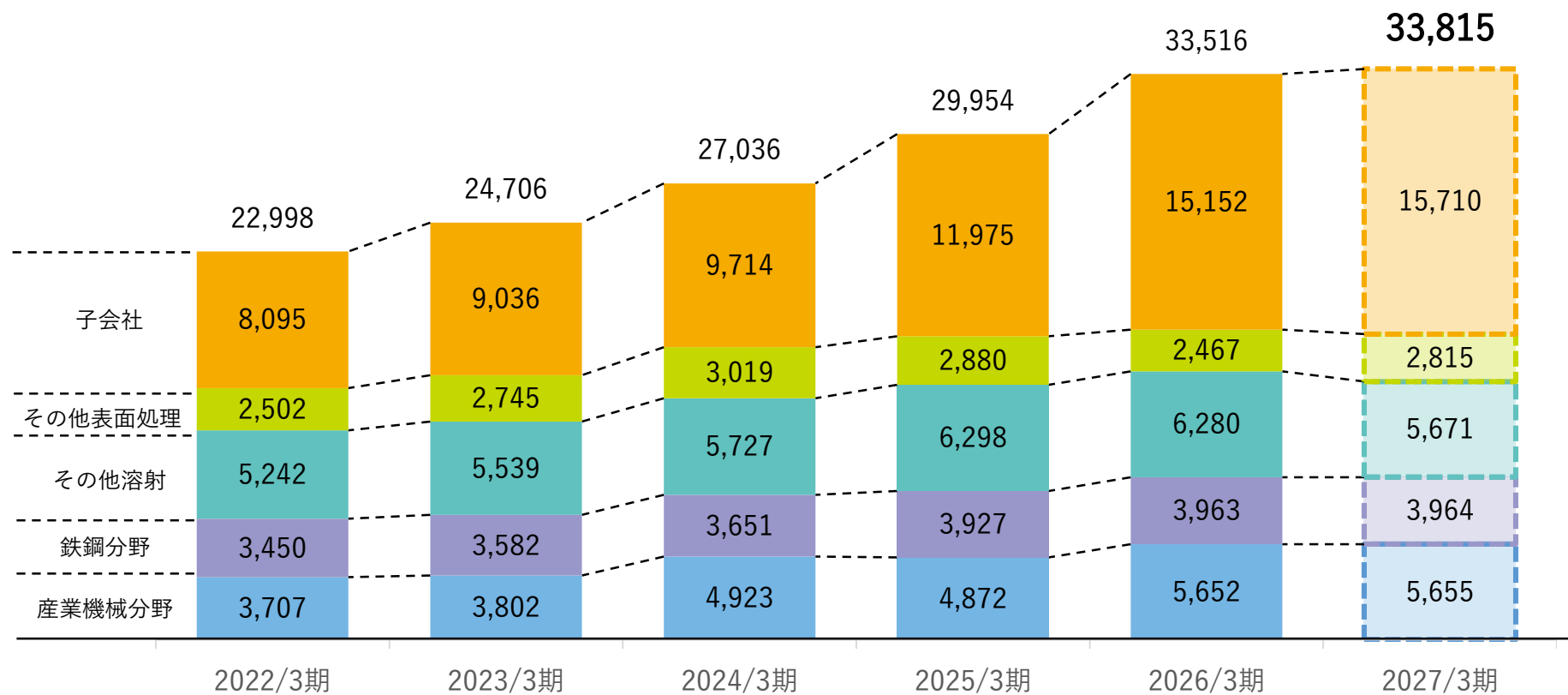
半導体・F P D分野以外の売上推移



半導体・F P D分野以外の売上高は、前期比0.9%増と微増の見込み
産業機械分野、鉄鋼分野、子会社を中心に堅調に推移し、その他表面処理
についても回復基調となる見通し

前期比
+0.9%

(百万円)



(注) 売上高のうち「受取ロイヤリティ等」は含まれておりません。

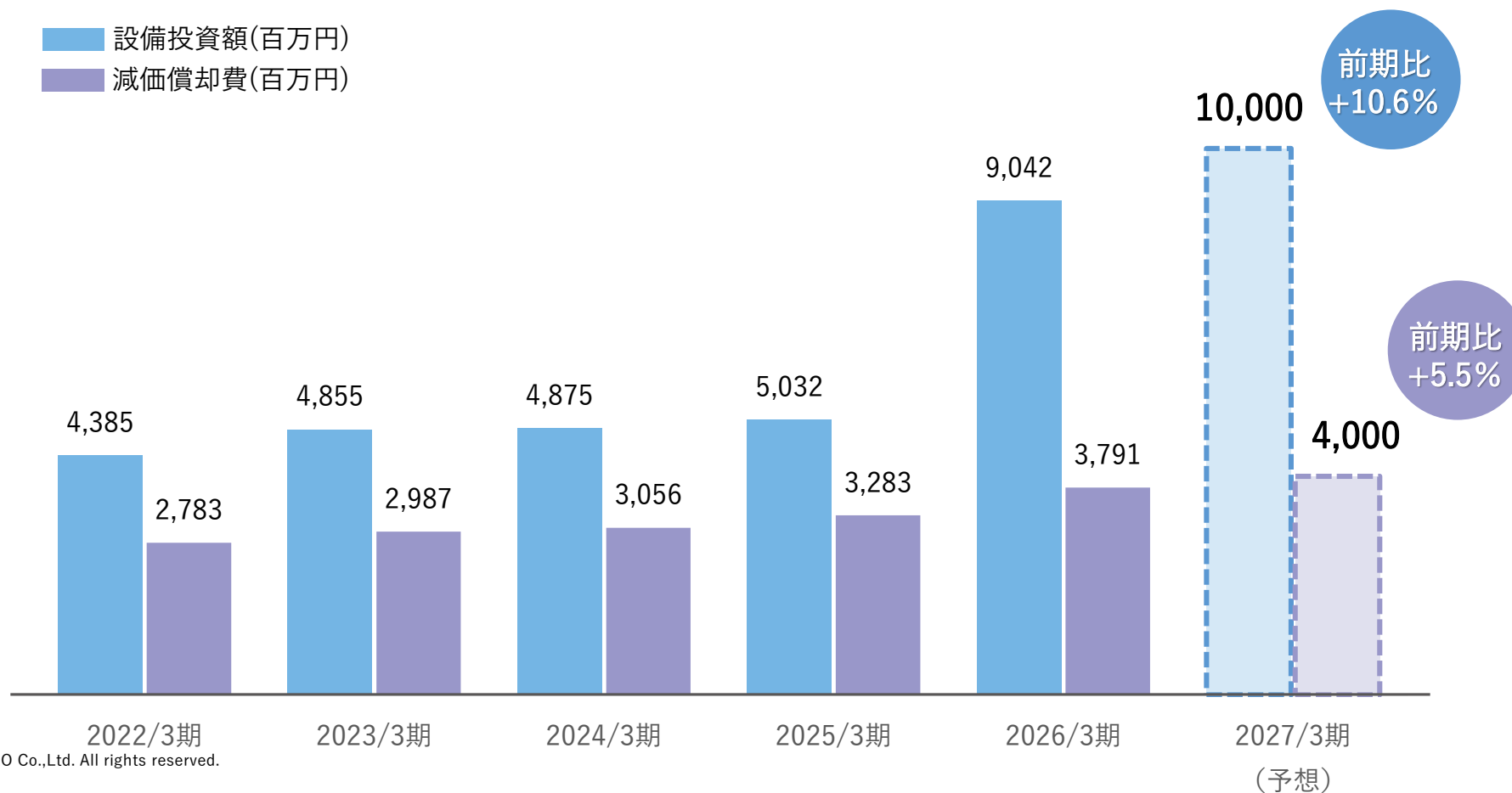
設備投資額と減価償却費

POINT

2027年3月期の設備投資予定額 100億円

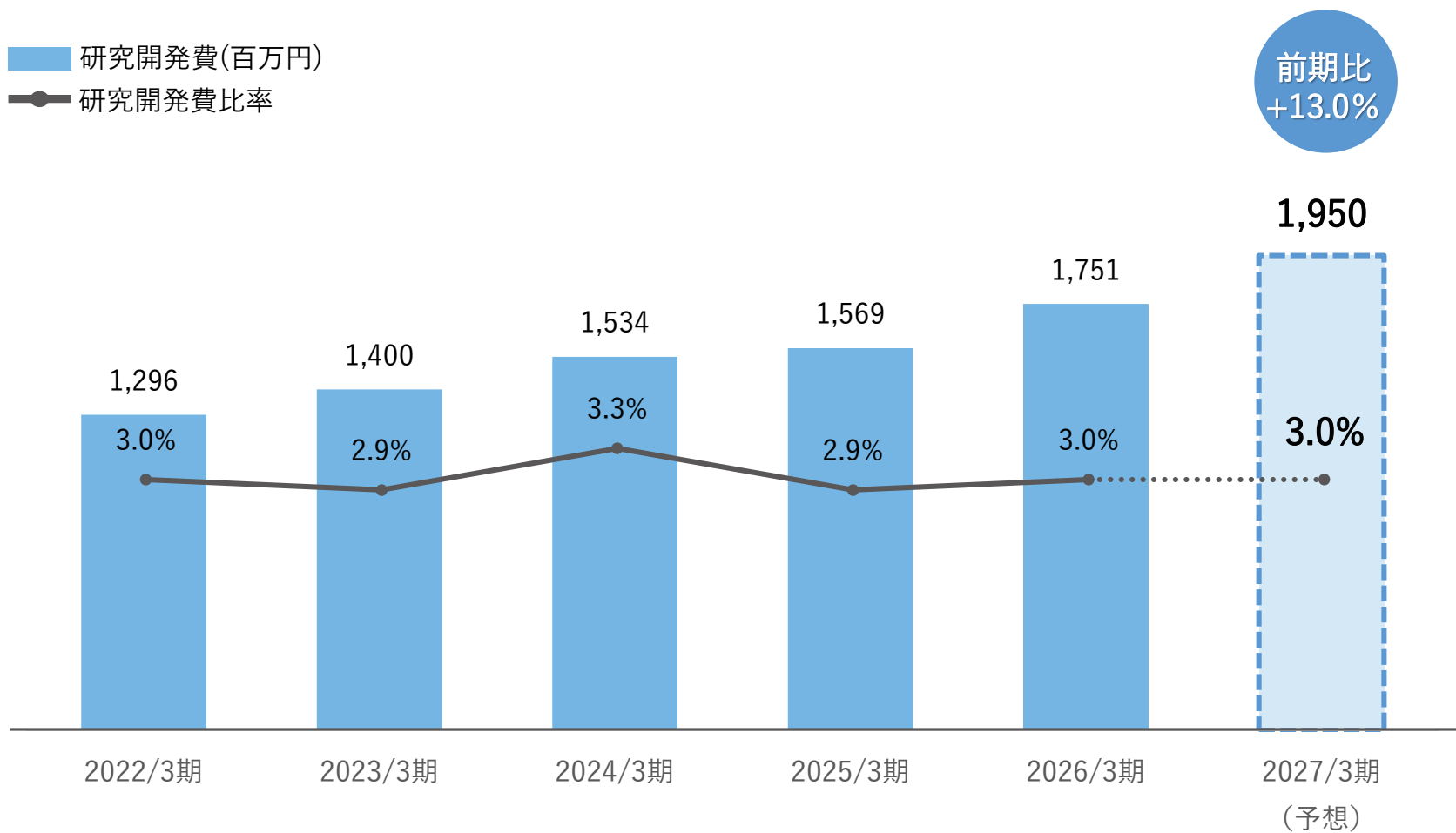
- トーカロ 80億円：東京第二工場・北九州工場の新棟建設および生産設備導入、研究設備など
- 国内子会社 7億円：寺田工作所の新棟建設、日本コーティングセンターの生産能力増強など
- 海外子会社 13億円：TCA-Arizonaの工場新設など

■ 設備投資額(百万円)
■ 減価償却費(百万円)



研究開発費

POINT 研究開発費は連結売上高比で3%程度を維持



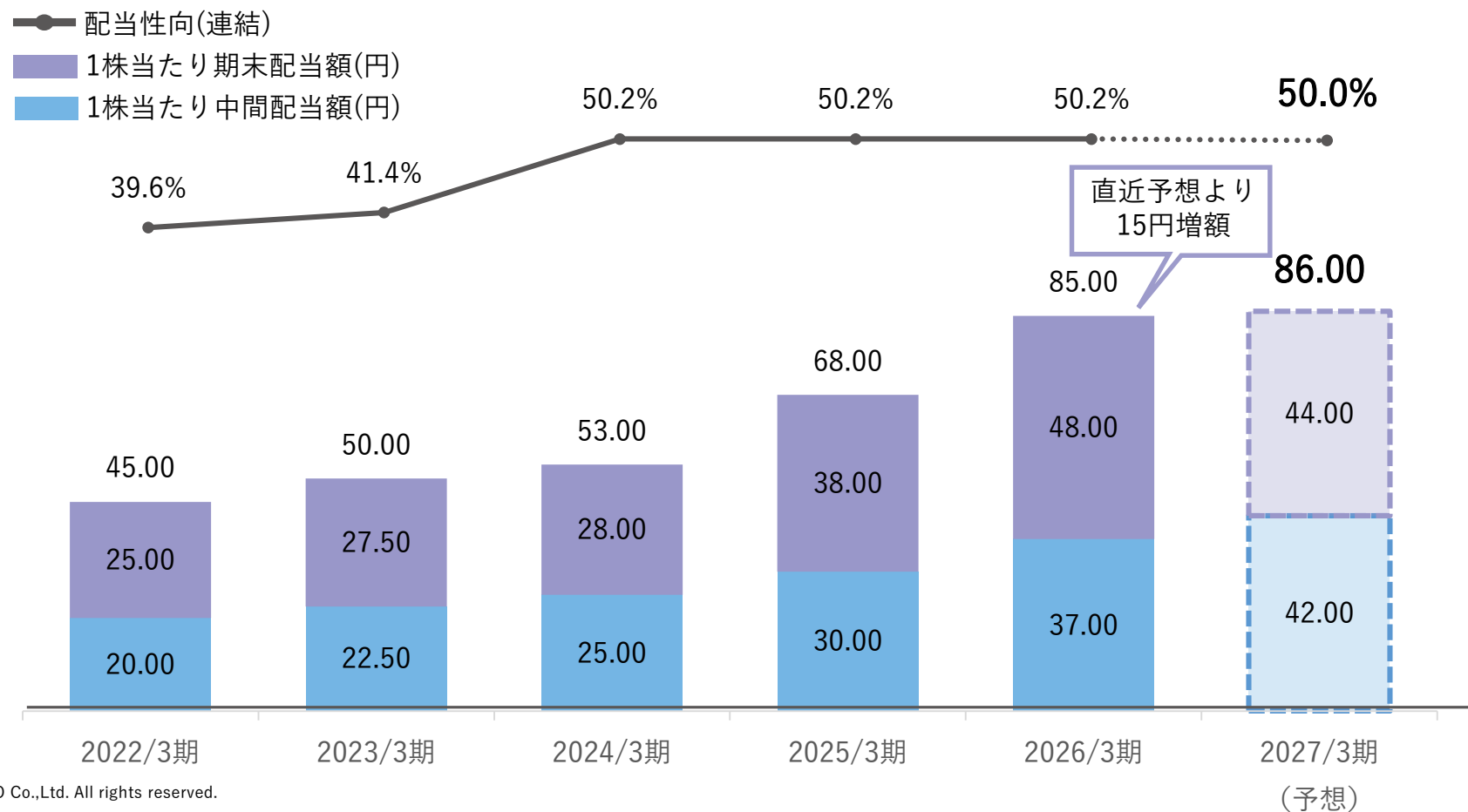
1株当たり配当額と配当性向の推移

POINT

2027年3月期の年間配当は増収により、86円に増配を予定

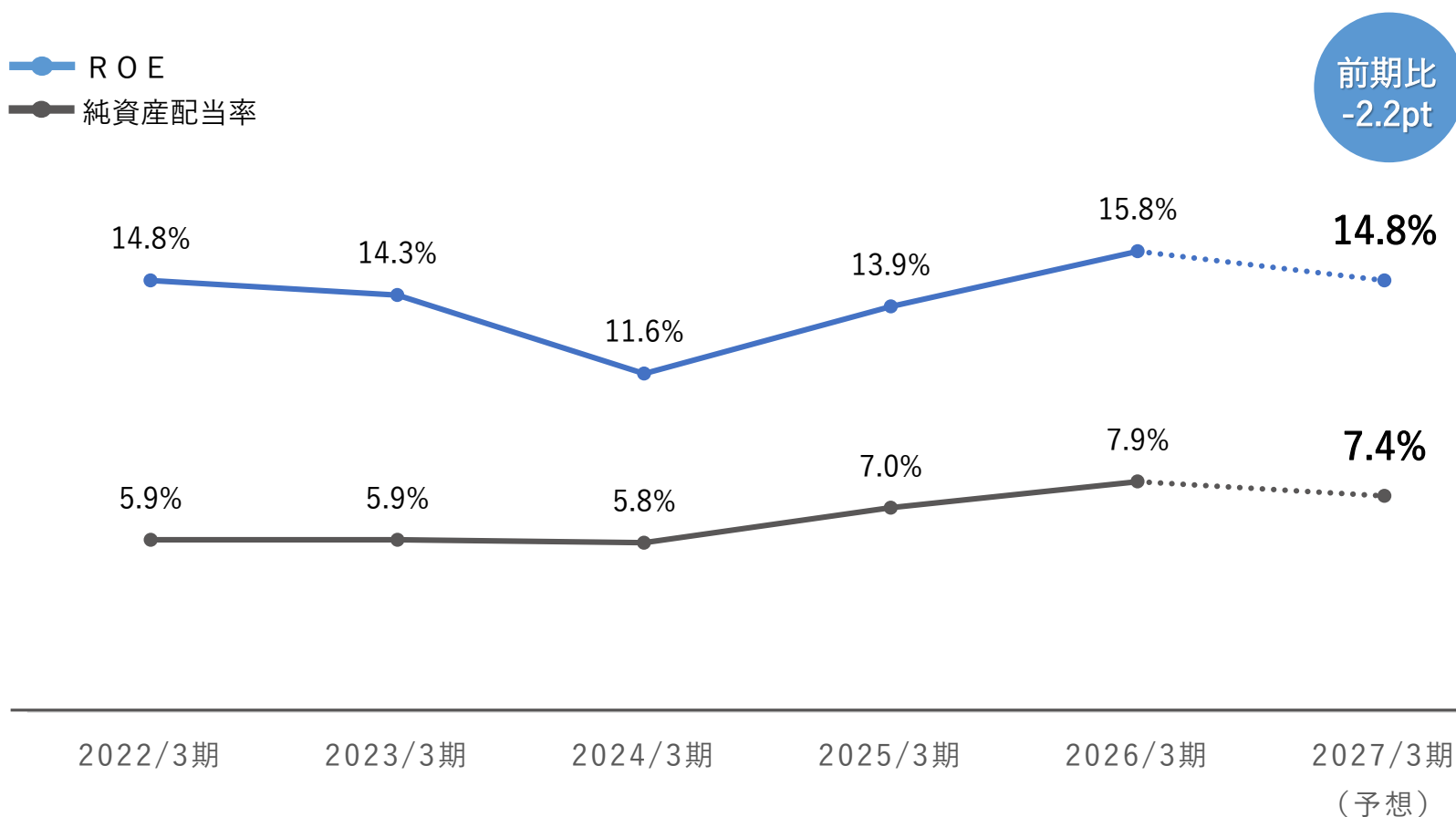
株主還元方針

- 連結配当性向 50%程度および純資産配当率(DOE) 5%以上を目標とする
- 自己株式の取得も、事業環境や財務状況などを考慮しつつ機動的に実施



ROEとDOEの推移

POINT ROE※は14.8%と目標15%をわずかに下回るも、DOE※は7.4%と目標とする5%を上回る見込み



※ROE (自己資本利益率) = 当期純利益 / 期中平均自己資本

※DOE (純資産配当率) = 1株当たり配当金 / 期中平均1株当たり純資産 (= ROE × 配当性向)



TOCALO

(参考) 経営指標ハイライト

(百万円)	2022/3期 実績	2023/3期 実績	2024/3期 実績	2025/3期 実績	2026/3期 実績	2027/3期 予想
受注高	45,394	48,419	47,505	56,159	61,823	—
受注残高	7,896	8,349	9,260	11,349	14,843	—
売上高	43,813	48,144	46,735	54,231	58,490	65,000
営業利益	10,255	10,558	9,197	12,268	14,102	15,000
経常利益	10,571	11,003	9,662	12,558	14,745	15,000
経常利益率	24.1%	22.9%	20.7%	23.2%	25.2%	23.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,909	7,350	6,326	8,051	10,060	10,230
1株当たり当期純利益 (EPS)	113.62円	120.83円	105.53円	135.44円	169.19円	172.02円
総資産	69,517	74,263	77,940	81,683	89,291	97,000
自己資本	49,099	53,839	55,460	60,645	66,758	71,700
自己資本比率	70.6%	72.5%	71.2%	74.2%	74.8%	74.0%
自己資本利益率 (ROE)	14.8%	14.3%	11.6%	13.9%	15.8%	14.8%
総資産経常利益率 (ROA)	15.8%	15.3%	12.7%	15.7%	17.2%	16.1%
投下資本利益率 (ROIC)	13.0%	12.5%	10.2%	12.7%	13.1%	12.0%

(注) 1 ROE=親会社株主に帰属する当期純利益÷期中平均自己資本、ROA=経常利益÷期中平均総資産、ROIC=税引後営業利益÷期中平均投下資本

2 売上高及び営業利益は、2022/3期の表示方法の変更(「受取ロイヤリティー等」の計上区分を営業外収益から売上高に変更)を反映した組替え後の数値です。

3 2026/3期上期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025/3期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

注意事項

本資料における将来に関する記述は、発表日現在、当社が入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後のさまざまな要因により、実際の業績等はこれら見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。

お問い合わせ先

トーカロ株式会社

経営企画部

TEL: 078-303-3433 (代)